

課題4 活動内容

～地域住民の連帯意識の醸成や住民同士の交流促進に向けて～

ラジオ体操を通じた地域の絆づくり

【1 現状・課題】

- ある地域では、住民が地域の公園で始めたラジオ体操が徐々に広がり、約50年前にラジオ体操の会が結成されました。
- この会では、ラジオ体操を健康づくりや住民同士の絆づくりに役立てています。

【2 地域におけるこれまでの取組内容】

- 公園でのラジオ体操をほぼ毎日続けて、今では、多い日には70名以上の参加があるまでになりました。
- 会の発足50周年を記念して、お揃いのTシャツを作ったり、会場である公園に桜の木を植樹するなど、地域での絆を育み、楽しみながら活動を続けています。

▼ラジオ体操の様子



【3 行政等からの支援】

- ラジオ体操の会を市の高齢者いきいき活動ポイント事業※の対象団体として登録し、より多くの高齢者の参加を奨励しています。
- ※ 広島市在住の65歳以上の高齢者が、自らの健康づくりや地域支援のために行う活動を奨励するため、活動実績に基づき付与されるポイント数に応じて、奨励金を支給する事業。

【4 これまでの成果】

- ラジオ体操は地域の交流の場となり、休みが続く人を気に掛け合うなど、高齢者の見守りの場としても重要な役割を果たしています。

【5 今後の更なる活性化のための取組の方向性】

- 共助の取組として地域では、ラジオ体操の会を中心に学校や地域団体などとも連携して、小学校の校庭などでの巡回ラジオ体操(NHKラジオで全国に生放送される。自治体経由の申込みが必要)の誘致に取り組むなど、ラジオ体操を通じた地域の絆を広げていきたいと考えています。
- 公助の取組として行政等では、地域からの求めに応じて、巡回ラジオ体操の申込みに協力するなど、ラジオ体操を通じたまちづくりの取組を支援します。

☞ 他地区で展開する際のポイント

- ◎ ラジオ体操のように地域で取り入れやすく、誰もが気軽に始められる活動を継続することも地域の絆づくりに効果的です。